

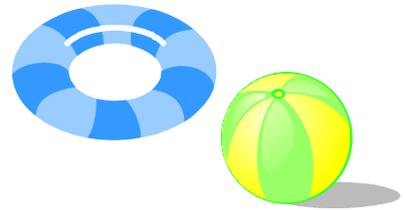
咽頭結膜熱（プール熱）を予防しましょう

咽頭結膜熱は、アデノウイルスと呼ばれるウイルスが原因となり、プールを介して流行することが多いことからプール熱とも呼ばれます。
毎年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7月から8月頃が流行のピークとなります。

1 咽頭結膜熱の症状

症状には、以下のものがあり、1～2週間で治癒します。気になる症状がある時は、早めに医師に相談してください。

- 発熱（38℃～39℃）
- 咽頭炎（のどの痛み）
- 結膜炎（目の炎症）



2 感染を予防するには

咽頭結膜熱の感染経路は、接触感染や飛沫感染です。

予防には、以下のことに注意することが必要です。

- 流行時には、流水や石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- プールから上がった時は、シャワー、洗眼、うがいをしましょう。
- タオルなどを共用したり、触れた物を介して感染することがありますので共用はできるだけ避けましょう。

☆消毒方法：プール熱にかかった人が使ったタオルなどは、塩素系の漂白剤の入ったもので別に洗うとよいでしょう。

おもちゃ等は、アルコールで拭きましょう。（80%消毒用エタノール）

3 咽頭結膜熱にかかってしまったら

- 咽頭結膜熱は高熱が比較的長く（5日前後）続くことがあります。

しかし、特別な治療はなく、ほとんど自然に治ります。

吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談してください。

- 水分を十分に補給してください。（口の中が痛くなるので食欲不振による脱水を防ぐことが大切です）
- 感染症なので主要な症状（高熱、目の充血、喉の痛み）がなくなってから2日間を過ぎるまでは登校・登園禁止です。目やにが出ている間は他人に感染させる可能性があります。

